



環境経営レポート2023

NIKKO YUKI
有限会社日光有機

WHAT'S 日光有機

「捨てるもの」から 「欠かせないもの」を生み出す

今や世界的な取り組みとなっている食品ロスの削減、そしてリサイクルによる循環型社会の推進。当社では創業以来、食品工場から出る食品廃棄物と樹皮や木くずを原料として有機堆肥を製造し、そして堆肥で豊かになった土壌から新たな植物を生み出すという「リサイクルの循環」にいち早く取り組んでまいりました。

受け入れた廃棄物は100%リサイクル循環され、廃棄物に新たな価値を生み出す。当社はこれからも循環型社会の一端を担う企業として、自信と誇りをもって、環境にやさしいモノづくりに努めてまいります。



有限会社日光有機 代表取締役

三井春彦

目次Table of Contents



01 環境理念・環境方針

02 会社概要

03 施設概要、施設概略図

04 エコアクション21実施体制

05 車両・重機保有台数

06 保有許可一覧

07 保有資格一覧

08 廃棄物処理工程図

09 環境関連法規等の遵守状況

10 事業計画の概要

11 環境活動計画・取組評価

12 環境目標及び実績・評価

13 代表者による環境活動の取組結果の評価

14 環境教育、防災訓練等

環境理念

企業の事業活動において、食品業界からは食品残渣や食品汚泥、製材業界からは樹皮等、土木建設業界からは伐採材や剪定材、流木等の廃棄物が毎日排出されています。

日光有機はこれらの廃棄物を有用資源として、バーク堆肥や有機肥料に再資源化するほか、伐採材や流木等は、化石燃料の代替品になるバイオマス発電用燃料の原料に再資源化し、資源循環及び環境保全、そして国内の肥料資源の枯渇防止に貢献します。

また海岸防災林再生等の環境改善活動を積極的に行い、環境保護に協力します。



2018年6月1日 制定

2022年6月1日 改訂

環境方針

日光有機は、廃棄物として排出される有機物を地球環境保全や肥料資源の枯渇防止に貢献する資材に再資源化する事業を推進します。

また、地球温暖化軽減効果や防災機能がある海岸防災林再生活動を含むCSR活動を推進します。当社では、環境問題を最重要課題として、事業活動において環境負荷を低減化するため、次の重要項目を設定し、継続的に環境負荷の低減化に取り組みます。

1. 省エネルギー等の推進により、二酸化炭素排出量の削減に努めます
2. 廃棄物の削減および適正処理、リサイクルの推進に努めます
3. 雨水の有効利用を図ると共に、節水の推進に取り組みます
4. 自社製品による顧客の環境負荷削減に努めます
5. グリーン購入の推進に努めます
6. 海岸防災林再生活動を含む地域でのCSR活動を推進します
7. 事業活動に関わる法規、条例、その他の要求事項を遵守します
8. この環境方針は、全従業員に遵守させます

2018年6月1日 制定

2023年5月1日 改訂



会社名及び代表者名

有限会社日光有機

代表取締役 三中春彦

所在地

本 社 工 場：栃木県日光市大沢町388

猪倉RC工場：栃木県日光市猪倉字上原2310-2,3

環境管理責任者及び連絡先担当者

環境管理責任者：取締役営業部長 吉原貞樹

連絡先担当者：営業・業務 三中美朋

連絡先：0288-26-1442(TEL)

0288-26-0042(FAX)

ホームページ：<http://nikko-yuki.co.jp/>

事業内容

産業廃棄物収集運搬・中間処理

一般廃棄物中間処理

パーク堆肥製造販売

緑化・農園芸資材製造販売事業

バイオマス発電燃料原料の製造

事業規模

創立：昭和60年11月13日

資本金：500万円

売上高：619百万円(2023年度実績)

社員数：22名

建物床面積：本 社 3,059㎡ (敷地面積 22,006㎡)

猪倉RC工場 6,422㎡ (敷地面積 27,006.3㎡)

2023年度 産業廃棄物処理量			処理量 (t)
収集運搬量	木くず		519
中間処理量	食品廃棄物	堆肥化	43,053
	木くず	チップ化	3,803
	(小計)		46,856

対象範囲

対象範囲：全組織・全活動

対象組織：有限会社日光有機 本社・猪倉RC工場

対象活動：産業廃棄物収集運搬・中間処理

一般廃棄物中間処理、パーク堆肥製造販売

緑化・農園芸資材製造販売事業

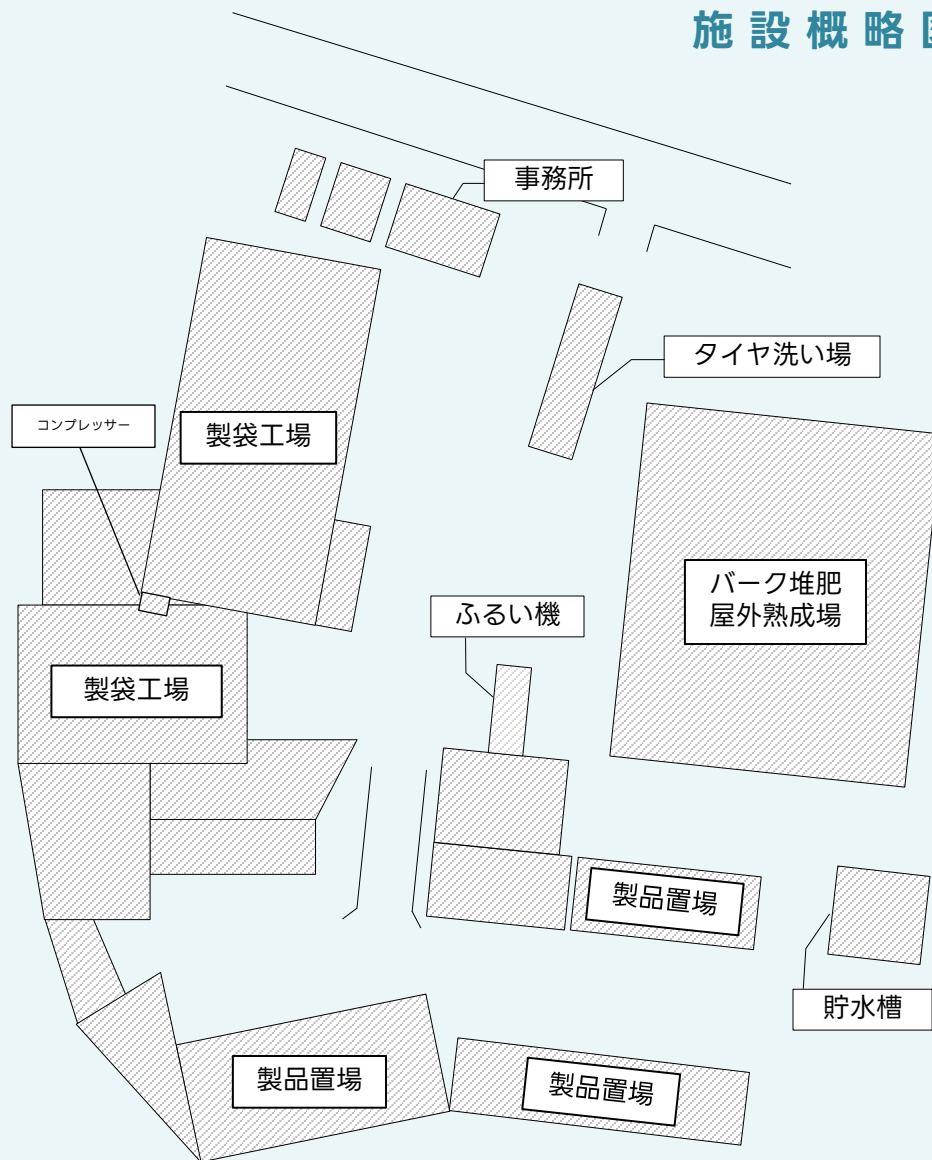
バイオマス発電燃料原料の製造

施設概要・施設概略図（本社工場）

本社工場設備、処理能力

施 設	数	能 力	対 象 物
バーク堆肥屋外熟成場	1	-	バーク堆肥
貯水槽	1	-	雨水等貯水
資材供給機	6	-	バーク堆肥
バーク堆肥粉碎機	1	100 t / 日	バーク堆肥
バーク堆肥大型ふるい機	1	-	バーク堆肥
バーク堆肥計量充てん装置	3	5,000袋/日	バーク堆肥
コンプレッサー	1	11kw	バーク堆肥

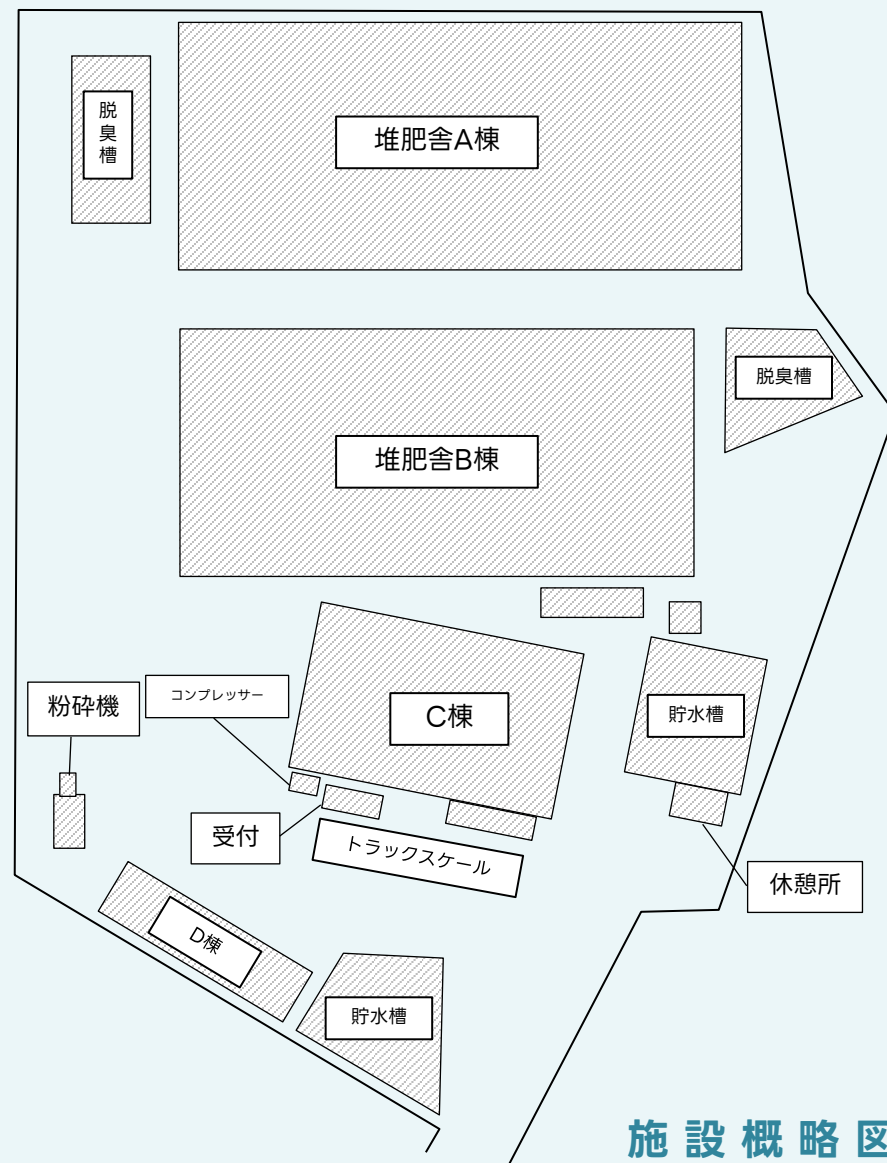
施設概略図



施設概要・施設概略図（猪倉RC工場/中間処理施設）

猪倉RC工場設備、処理能力

施 設	数	能 力	対 象 物
粉砕機	1	320t/日	木くず
混合、発酵施設 (堆肥舎A棟、堆肥舎B棟)	2	320t/日	廃食品 木くず
脱臭施設	2	-	臭気
通気ブロー施設	2	-	堆肥化
産業廃棄物、 一般廃棄物、一次保管場	2	-	廃食品 木くず
パーク堆肥屋外保管場	1	-	パーク堆肥
貯水槽	2	-	雨水等貯水
重量計測器 (トラックスケール)	1	40t以下	廃食品 木くず パーク堆肥
コンプレッサー	1	2.2kw	パーク堆肥





代表管理者

三中 春彦

EA21事務局

管理責任者	吉原 貞樹
担当者	三中 美朋

役割分担

代表管理者		環境方針の策定、環境管理責任者の任命、EA21の総合評価
EA21事務局	管理責任者	環境管理システムの構築、環境活動レポートの承認、環境活動の統括
	担当者	EA21関連業務取りまとめ
本社	営業・業務・経理担当責任者	営業、業務、経理の環境への取組のチェック、実施
本社工場	収集運搬担当責任者	収集運搬の取組のチェック、実施
	製品製造担当責任者	製品製造作業のチェック、実施
猪倉RC工場	中間処理担当責任者	中間処理作業のチェック、実施

本社

営業・業務・経理
担当責任者

担当社員

3名

本社工場

収集運搬
担当責任者

担当社員

1名

製品製造
担当責任者

担当社員

5名

猪倉RC工場

中間処理
担当責任者

担当社員

6名

10t ダンプ : 2 台



バーク堆肥の配達や
堆肥の原料である樹皮の引取に使用

バックホウ : 4 台



バーク堆肥の切り返しや
破砕機に木くずを投入する際に使用

ホイールローダー : 5 台



バーク堆肥の場内運搬や、ダンプへの積み込み
資材の混ぜ込みなどに使用

フォークリフト : 6 台



袋詰め製品の運搬に使用

■産業廃棄物処分量

管 轄	許 可 品 目		許 可 年 月 日	有 効 年 月 日
栃木県	動植物性残渣、汚泥、廃油、燃え殻、家畜ふん尿、木くず	栃木県00920009663	令和5年10月12日	令和10年10月11日

■日光市一般廃棄物処理業

管 轄	許 可 品 目	許 可 番 号	許 可 年 月 日	有 効 年 月 日
日光市	木くず	日光市許可第1号	令和6年5月29日	令和8年6月30日

■産業廃棄物収集運搬業

管 轄	許 可 品 目	許 可 番 号	許 可 年 月 日	有 効 年 月 日
栃木県	木くず、燃え殻	栃木県00900009663	令和5年6月9日	令和10年6月8日
茨城県	木くず、燃え殻	茨城県00801009663	令和6年10月28日	令和11年8月16日
群馬県	木くず	群馬県01000009663	令和2年4月1日	令和7年3月31日

■再生利用事業登録

管 轄	事 業 の 内 容	許 可 番 号	許 可 年 月 日	有 効 年 月 日
関東農政局	肥料化事業	9-6-2	令和2年9月17日	令和6年7月22日 ※更新手続中

■エコアクション21

管 轄	許 可 品 目	許 可 番 号	許 可 年 月 日	有 効 年 月 日
環境省	-	0012738	令和5年4月18日	令和7年4月17日

資 格 名	人 数
ゴミ処理施設技術管理士	1
破砕・リサイクル施設技術管理士	1
車両系建設機械運転技能講習	11
大型自動車免許	6
中型自電車免許	8
自動車整備士 3 級	1
フォークリフト運転技能講習（最大荷重 1 t 以上）	10
玉掛け技能講習	1
小型移動式クレーン運転技能講習	2
アーク溶接技能講習	1
有機溶剤作業主任者	1
甲種危険物取扱者	1
一般粉じん関係公害防止管理者	1
一級造園施工管理技士	1
二級土木施工管理技士	1
計量証明主任計量者	1

廃棄物処理工程図

収集運搬

木くず

中間処理

木くず

樹皮

動植物性残渣、有機汚泥、燃え殻等

破碎

破碎

猪倉RC工場で一定比率混合し、バーク堆肥の一次発酵

猪倉RC工場でバーク堆肥を二次発酵

猪倉RC工場のバーク堆肥保管堆積場で保管

本社工場にバーク堆肥を移動

本社工場でバーク堆肥の三次発酵および熟成

用途によりバーク堆肥を粉碎し、粒径を整える

製造出荷

バイオマス燃料
加工会社に出荷販売袋詰めまたはバラで
園芸資材製造業者等に販売バーク堆肥をココピートや
ピートモス等と混合、袋詰めし、
緑化施工業者等に販売

環境関連法規等の遵守状況

主な適用法規	摘要内容	遵守状況
廃棄物の処理法及び 清掃に関する主な法律	収集運搬業許可、変更届、更新	○
	収集運搬車両の表示	○
	処分業許可、変更届、更新	○
	委託契約の締結	○
	廃棄物の適正保管	○
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の回付、保管	○
	産業廃棄物処理施設技術管理者の設置	○
消防法	消火器の設置	○
	指定可燃物の届出	○
	消防用設備等の点検	○
道路交通法	積載量、法定速度の遵守	○
道路運送車両法	基準不適合車両の禁止	○
道路運送法	法令順守	○
計量法	検査等	○
フロン排出抑制法等	点検	○
浄化槽法	検査、清掃	○
電気事業法	点検	○
地域住民との協定書	臭気計測、立ち合い調査等	○



事業の全体計画

排出された産業廃棄物および一般廃棄物に関して中間処理を行い、再資源化し、環境保全並びに肥料資源の枯渇防止に貢献する。

また福島県で行っている海岸防災林再生活動や地域清掃活動等を積極的に行い、社会に貢献する。



中間処理計画

◎処理計画に基づき、廃棄物を適正に処理する。

◎廃棄物の運搬は、荷台にシートをかけ飛散しないようにする。

◎悪臭を出す廃棄物の運搬は、悪臭を低減化するため消臭剤を散布し行う。

◎中間処理の作業中に、悪臭が発生した場合は、作業を中断し、消臭剤を散布し悪臭を軽減化させる。

◎廃棄物等の運搬車が工場から外部に出る場合は、タイヤ等を水で洗浄してから運搬させる。

◎作業場等は、常に清掃し清潔を心掛ける。



収集運搬計画

◎回収計画に基づき収集運搬を行う。

◎収集運搬用の車両には廃棄物運搬である旨の会社名、許可番号を表示して行う。

◎収集運搬時には、許可証の写しとマニフェストを携帯して行う。

①軽油・ガソリン消費量の削減

環境活動計画

取組内容の評価

運搬車両

- ・エコドライブの実施
- ・経済的な速度での運転
- ・社労の定期的な整備
- ・ルート効率化



- ・ドライバーはエコドライブの目的と効果を意識し運転するよう心掛けた。
- ・経済的な速度での運転を指導し、経済的な速度を意識して運転した。
- ・車両の日々のメンテナンスを行い、走行中の事故や故障を未然に防いだ。
- ・運転ルートの計画を立てることにより、最適なルートで目的地まで走行した。

重機

- ・アイドリングストップの徹底
- ・エンジンの最適回転数の維持
- ・効率的な運転方法の実施
- ・車両の定期的な整備



- ・アイドリングストップを徹底し、不必要な燃料の消費を防いだ。
- ・エンジンの最適回転数を意識して運転するよう心掛けた。
- ・効率的な運転方法を意識し、燃費を良くするよう心掛けた。
- ・車両の日々のメンテナンスを行い、故障を未然に防いだ。

破碎機

- ・稼働の効率化
- ・定期的な整備



- ・無駄な稼働を避け、計画的な稼働を行うことで燃費の消費を防いだ。
- ・日々のメンテナンスを徹底し、故障を未然に防いだ。

営業車両

- ・アイドリングストップの徹底
- ・電気自動車の導入
- ・定期的な整備
- ・相乗りの徹底



- ・アイドリングストップの徹底を指導し、不必要な燃料の消費を防いだ。
- ・定期的な車両の整備を行った。
- ・目的地に2名以上で行く場合は、相乗りを徹底した。

次年度取組

堆肥の原料である樹皮や木くずの収集運搬を、経営コスト削減の観点から外部発注でなく自社ダンプで行った。それにより軽油の使用量が目標数値を一部オーバーする月があったが、日々の削減努力により、不必要な消費をしっかりとセーブ出来ていると評価。次年度も継続して無駄の削減に努めていく。

②電力消費量の削減

環境活動計画

- ・工場設備の節電
- ・エアコンの温度管理
- ・機器の省電力設定
- ・照明は必要時のみに点灯



取組内容の評価

- ・工場の設備の中で、強弱を変える等をして節電し、電気使用量を削減した。
- ・可能な限り外気を使用して室温調整し、エアコンを使用する際は省エネ温度設定を行った。
- ・機器の省電力設定を行い、電力使用量を抑制した。
- ・照明は必要時のみ点灯、省エネと節電を心掛けた。

次年度取組

次年度も、同様の活動を継続して電気使用量削減に努める。

③水道使用量の削減

環境活動計画

- ・水回りの定期的な点検
- ・水道蛇口のこまめな開閉
- ・雨水の利用



取組内容の評価

- ・水道やホースに漏れが無いか日々点検を行い、漏水を防いだ。
- ・水道の蛇口をこまめに開閉し、無駄な使用を防いだ。
- ・堆肥に散布する水などは極力雨水を利用し、節水を心掛けた。

次年度取組

次年度も、同様の活動を継続して水道使用量の削減に努める。

④事業の一般廃棄物削減

環境活動計画

- ・コピー用紙の裏紙使用や封筒等の再利用の実施
- ・資料のデータ化



取組内容の評価

- ・コピー用紙の裏紙使用を徹底し、無駄な印刷は避け、封筒等の再利用を実施した。
- ・紙で作成していた資料をパソコン上で管理し、データの電子化を行った。

次年度取組

次年度も、同様の活動を継続して無駄紙の排出を抑えるよう努める。

⑤環境に配慮した資材の購入

環境活動計画

- ・グリーン購入法適合商品等の環境配慮型資材の優先購入



取組内容の評価

- ・資材を購入する際、グリーン購入法適合商品等の環境配慮型の資材を優先的に選択するようにした。

次年度取組

次年度も資材を購入する際、環境に配慮した資材を購入するよう努める。



⑥CSR活動【海岸防災林活動】

環境活動計画

- ・福島県相馬市の海岸沿いで行っている海岸防災林再生活動を継続実施



取組内容の評価

- ・令和5年7月1日及び10月21日に福島県相馬市の海岸防災林の黒松の生育状況の調査と草刈、倒木防止措置、看板の撤去等を行った。
- ・令和6年1月25日に、福島県知事あてに二酸化炭素吸収量認証申請書を提出した。

次年度取組

2016年3月に立ち上げられた福島海岸防災林再生委員会は、海岸防災林の再生を目的とし活動してきたが、8年間の活動を経て目的が概ね達成された。その為2024年4月をもって解散。福島の海岸に緑を取り戻し、被災地復興に大きく貢献した活動であった。取組としては終了となるが、今後も被災地復興の力になれる機会があれば、積極的に貢献したい。

【福島県相馬市 海岸防災林の生育及び管理状況】



⑦CSR活動【地域ボランティア活動】

環境活動計画

- ・ 地域の清掃ボランティア活動
- ・ 事業所前のバス停留所にベンチを設置
- ・ 近所の障害者施設にバーク堆肥を寄贈



取組内容の評価

- ・ 会社前の国道119号線歩道の清掃、草刈を定期的に行った。
- ・ 事業所前に設置されている関東バスのバス停利用者の為、会社敷地内にベンチを設置するボランティアを実施している。
- ・ 近所の障害者施設にバーク堆肥を寄贈。

次年度取組

40年近く地域に根差す企業として、次年度も様々な分野のボランティア活動で地域に貢献したい。
来期はバス停前のベンチの塗り替えを予定している。

【CSR活動の様子】



⑧産業廃棄物の削減

環境活動計画

- ・ 廃プラスチックの削減



取組内容の評価

- ・ 昨年に引き続き、製品の出荷量減少に伴い、原料使用量が減っている為、廃プラ使用量が減少した。

次年度取組

引き続き廃プラの再利用の可能性を模索する必要がある。

⑨エコ製品等の製造出荷量拡大

環境活動計画

- ・ バーク堆肥出荷量の拡大



取組内容の評価

- ・ バーク堆肥の出荷量が目標値を達成できなかった。原因としては、緑化公共事業が年々減少していることに加え、2023年は例年に比べ夏の猛暑が続いた影響で園芸方面の出荷が減少したのも要因となっている。

次年度取組

気候変動が事業に影響を与えた年となった。今後温暖化により気温の上昇が見込まれる中で、事業を取り巻く環境の変化に、製品としても、販売戦略としても、対応していく必要がある。

⑩廃棄物の中間処理における環境配慮

環境活動計画

- ・ 本社工場、猪倉RC工場の定期的な臭気測定の実施
- ・ ハエ等の害虫駆除への新たな取り組み



取組内容の評価

- ・ 本年度も本社工場、猪倉RC工場の定期的な臭気測定を実施した。
- ・ 新たな害虫駆除方法を実施するなど、処理施設の環境改善の取組を行った。

次年度取組

今までも継続して害虫駆除を行ってきたが、展示会や駆除専門業者へ相談を行うなど、より効果的な駆除方法を模索・実施。次年度も処理施設の環境改善を図る。

【臭気対策・害虫駆除の様子】



環境目標及び実績・評価及び目標値



環境方針	環境目標	課題(何を)	具体的方法(どのように)	2020年度の実績を基準(BM)として目標値と達成値					次年度目標値
				単位	2020年度	2023年度			2024年度
					基準(BM)	目標	実績	評価	目標
省エネルギー	二酸化炭素排出量の削減	購入電力の削減	・ エアコンの温度管理 ・ 機器の省電力設定 ・ 照明は必要となきのみ点灯	Mkwh	1,055.0	1,023.4	592.1	○	1,012.8
					-	97%	56%		96%
				Mkwh/t	22.8	22.1	12.5		21.8
		軽油使用量の削減	・ TPM活動の取組 ・ エコドライブ講習会の実施 ・ 車両、重機、粉碎機の定期的なメンテナンス ・ 効率的な運転と稼働	KL	282.7	277.0	278.2	△	278.2
					-	98%	98%		98%
				KL/ t	6.10	5.91	5.88		5.85
		ガソリン使用量の削減	・ エコドライブ講習会の実施 ・ ガソリンを使用しない営業車への乗り換え	L	5,419	5,256	2,662	○	5,202
					-	97%	49%		96%
		二酸化炭素排出量 (購入電力+化石燃料)の削減	・ 二酸化炭素排出量の実績確認	t-CO2	1,242	1,205	1,004	○	1,192
					-	97%	81%		96%
廃棄物の削減	廃棄物排出量削減	一般廃棄物	・ コピー用紙の裏面使用 ・ 封筒等の再利用の実施	kg	1,040	1,009	990	○	998
					-	97%	95%		96%
		産業廃棄物	・ 廃プラ排出量の削減	kg	17,030	16,519	13,160	○	16,349
					-	97%	77%		96%
節水活動	総排出量の削減	排水量	・ 蛇口のコまめな開閉 ・ 雨水を利用した節水	m	168	163	152	○	161.3
					-	97%	90%		96%

環境目標及び実績・評価

環境方針	環境目標	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2020年度の実績を基準(BM)として目標値と達成値					次年度 目標値
				単位	2020年度	2023年度			2024年度
					基準(BM)	目標	実績	評価	目標
廃棄物の 処理量	廃棄物の中間 処理量維持	産業廃棄物	・ 食品排出業者とのコミュニケーション ・ 木くずの収集運搬、中間処理の連携	t	46,359	46,359	47,301	○	46,359
					-	100%	102%		100%
エコ製品等 出荷量	出荷量維持	環境負荷を抑制した エコ製品等の製造方法改善	・ 電力、軽油、廃プラスチックの削減	t	30,711	30,711	22,758	×	30,711
					-	100%	74%		100%
環境に優しい 活動	廃棄物の中間処理における環境配慮		・ 再資源化100%の継続 ・ 処理装置の職場環境測定の実施	%	100%	100%	100%	○	100%
	教育訓練とCSR活動及び環境保全活動		・ CSR活動(福島県海岸防災林再生等の 環境保全活動、地域ボランティア活動)	%	100%	100%	100%	○	100%
			・ 環境教育の実施	%	100%	100%	100%	○	100%
			・ 火災訓練、緊急避難訓練の実施	%	100%	100%	100%	○	100%

※1 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.474です。

※2 購入電力の原単位(kwh/t)の分母tは、処理量tです。

※3 エコ製品とは、バーク堆肥(商品名:スリーダイヤ2号)です。

【評価が○以外の項目についての原因】

- ①軽油使用量の削減……………バーク堆肥の原料である樹皮を自社ダンプを使用して引取に行ったことと、木くずの引取の需要が増え、軽油使用量増加となった。
- ②エコ製品の出荷量維持……………緑化公共事業の減少と、夏の猛暑が続いた影響で園芸製品の出荷が減少した。



代表者による環境活動の取組結果の評価

軽油や電気などのエネルギー使用量の削減に努めているが、ウクライナ情勢を始めとした世界情勢の影響もあり、エネルギー・資材といったモノの値段の高騰が続いている。

一方、主力製品であるバーク堆肥の需要の変化もより一層加速し、緑化公共事業の減少、そして猛暑の影響を受け園芸製品の売り上げが減少するなど、課題が山積みである。

そんな中でも、エコアクションを通じてエネルギー削減目標などを数字として意識することにより、従業員一人一人が日々の作業の中で出来るエコへの取組が意識づいてきたように感じる。

次年度も個人で出来る取組、そして企業として行える取組を模索しながら、目標達成に努めていきたい。



環境教育

定期小規模会議、全体会議を通して、社員全員に環境に関する教育を行った。またエコアクション21はどういう制度でどういう取組を行うべきなのか、根幹となる部分を作業員向けの説明会を開催した。事務所の従業員だけでなく、工場作業員にも取り組みの意義を周知し、会社全体でエネルギー削減に努めていく。



外部での研修・教育

環境展・地球温暖化防止展に参加。
今回は作業員も参加し、工場で作業を行う者の目線で、実際に取り入れられる環境システムや機械があるかを中心に見て回った。



防災訓練

本社工場、猪倉RC工場それぞれで消防・防災訓練を行った。
今回新たに会社備蓄用の防災キットを人数分導入した。
入社時に有事が起きた際の、防災対策を改めて確認した。



THANK YOU!



緑豊かな大地のために、私たちができること。

NIKKO YUKI

有限会社 日光有機